

三 沢 市 立 三 沢 病 院 事 業 運 営 審 議 会 会 議 録	
開催日時	令和6年11月18日(火) 午後1時30分～午後2時20分
場 所	三沢市立三沢病院 1階 会議室
出席者	委 員 堤 喜一郎 会 長 鈴 木 吾 朗 副会長 鈴 木 重 正 委 員 伊 藤 博 次 委 員 小 向 香 織 委 員 (委員5名出席)
	事 務 局 事業管理者 伊藤悦朗 院長兼地域医療連携室長 斎藤 聡 副院長兼泌尿器科科長兼医療安全推進室長 橋本安弘 薬局長 柳川明子 看護局長 岡田理津子 事務局長 遠藤恵介 同局参事兼管理課長 山本新一 同局同課副参事兼課長補佐 山本真人 同局同課課長補佐 小笠原 賢 同局同課経営庶務会計係長 沼田 恭 同局医事課長 田高安功 同局同課課長補佐 種市浩幸 同局同課課長補佐 田中志依 同局同課医事係長 桑嶋可奈子 同局同課経医療情報管理係長 木村真也 将来構想企画室長 別部容寛
次 第	1 開会 2 事業管理者挨拶 3 案件 令和6年三沢市議会第4回定例会提出議案について (1) 令和6年度三沢市立三沢病院事業会計補正予算(第2号) (2) 三沢市立三沢病院事業の設置等に関する条例の一部改正 (3) 三沢市立三沢病院使用料及び手数料徴収条例の一部改正 4 その他 5 閉会

会議の経過及び審議結果

案件

令和6年三沢市議会第4回定例会提出議案

- (1) 令和6年度三沢市立三沢病院事業会計補正予算(第2号)
 - (2) 三沢市立三沢病院事業の設置等に関する条例の一部改正
 - (3) 三沢市立三沢病院使用料及び手数料徴収条例の一部改正
- について、原案のとおり了承されました。

主な質疑は次のとおりです。

【委員】

三沢市立三沢病院は令和5年度決算では11億円を超える当年度純損失であり、25の自治体病院で1番悪い状況ということを経済新聞で見た。今回の補正予算(第2号)のままの決算となると、6億円を超える当年度純損失という理解でよいか。

【三沢市立三沢病院】

そのとおり、6億円を超える赤字となる予算となっている。

【委員】

この予算に反対はしないが、一般会計から特別利益として6.8億円を繰り入れて赤字が6億円を超えるということは、実際は13億円程度の赤字、昨年度より赤字額が多い、非常に厳しい状況という理解でよいか。

【三沢市立三沢病院】

そのとおり、大変厳しい経営環境となっている。今年度は、入院患者が昨年度に比べて1割程度増えているが、人件費や経費等も増えているので、状況的には昨年度並みに苦しい状況となっている。

【委員】

経費の54,819千円の増というのは具体的にどのようなものか。

【三沢市立三沢病院】

主なものは、委託業務をお願いしている会社のベースアップ等による委託料の増と、高騰している光熱水費。この2つで約50,000千円の増となっている。

【委員】

前回の審議会では「地域医療構想において、上十三地域は急性期が多く回復期が少ないという状況なので、現在の急性期220床を、令和7年7月には急性期169床、回復期51床にする予定」との説明があった。今回198床に削減することで、内訳はどうなるか。

【三沢市立三沢病院】

急性期病床147床、回復期に相当する包括ケア病床51床となるが、急性期病床のうち27床は休止状態となるので、急性期病床の稼働は120床となる。

【委員】

198床になると選定療養費が徴収できなくなることは患者さんには良いことだと思うが、飛び込みの新患が増え、外来診療の負担が増えることが危惧されるが、対策は考えているか。

【三沢市立三沢病院】

基本的には、今までどおり急性期患者の診察を継続すると考えているが、令和7年4月からは、かかりつけ医のない患者や飛び込みの患者も断ることなく1度診察し、その後、状況に応じて地域のクリニックに紹介するという流れにすることを考えている。

【委員】

三沢市立三沢病院の平均出産費用はいくらか。

【三沢市立三沢病院】

令和5年度実績となるが、平均455,705円となっている。

【委員】

現在の出産育児一時金が500,000円となっているので、今回の改正で金額が上がっても、本人負担が発生するという事ではないという理解でよいか。

【三沢市立三沢病院】

そのとおり。

【委員】

駐車場料金は上げてほしくないが、改正によりどのくらい収入が増えるか。

【三沢市立三沢病院】

1時間超えを150円から200円に改正した場合、年間450万円の増収を見込んでいる。

【委員】

このままでは累積赤字が増えていくと思われる。病床数削減による収入増等の説明を聞いても、赤字額が多少減るかもしれないが、黒字になるとは思えない。このままではどうなってしまうのかという強い不安がある。経費が大きく削れるとは思えない。その中でも一番大きいのは人件費と思われるが、ベースアップしている昨今の状況から人件費は増えている。職員も大幅には減らせないと思う。そうすると医業収益を上げるという考えになるが、状況を見ると、患者数は増えていない。三沢市立三沢病院がどうなってしまうのかという強い危機感がある。三沢市立三沢病院は防衛省の補助金で導入している医療機器も多く、その点、他院より恵まれているはず。院内に「あなたの声」というものが掲示されているが、私も三沢市立三沢病院の噂をよく聞く。人間というのは良いと感じたことはあまり話さず、悪いと感じたことを話すことが多いということは理解しているが、厳しい意見、マイナスな意見が多いと感じる。患者さんも色々な人がいるので全ての意見に対応するというのは困難であるが、さらに努力する必要がある。事業管理者、院長はじめ、医師や看護師、医療従事者、事務、委託の方々、みんなが危機感を持って、再生・再建しなくては

つぶれてしまうと思う。前回の審議会で説明のあった「地域の方々に愛される病院」「地域医療を担う病院」であってほしいし、そのためには、まだまだ努力する必要がある。市立病院の理念「良質な医療を提供する病院」「信頼される病院」「やさしい病院」というのを今1度、全員の共通認識として捉えて、周りの人からは市立病院が良い病院と言ってもらえるように、市民からは三沢市立三沢病院は誇れると言ってもらえる、愛される、信頼される病院を作っていただきたい。他人がこのようなことを言うのは簡単だが、市民はみんなそう思っている。現状のままでは負の連鎖に陥りかねない。駐車場料金も本当は上げないでほしい。上げざるは仕方がないが、上げることで負になる部分もある。良いことは言ってくれない、悪いことはすぐ広まるということを理解して、財政も含めて、患者さんに寄り添って頑張っていただきたい。このような審議会など機会あるごとに市民から聞いた声を伝えていきたい。危機感を持って、力を合わせて、市民に愛され、信頼される病院をつくっていただきたい。駐車場料金の値上げはあまり賛同できないが、状況的に仕方ない部分もあるということを伝えたい。

【三沢市立三沢病院】

委員発言はまさにそのとおりと当院も理解している。当院も常日頃から「あなたの声」や患者さんの意見を聞きながら改善してきた。経営状況についても、赤字状況そのままにしているのではなく、改善の最中。今回案件の病床数220床から198床に減床することも、今までやってこたないようなことで、このような所にも手を付けながら進めていくこととしている。このことによって紹介状がない患者も選定療養費が不要なく診療することができると診療の方向性も変わるため、病院全職員に説明会も実施している。また、経営状況を説明し、危機意識を共有している。現在は経営改善が喫緊の課題となっているが、患者サービスにも意識が必要。職員一丸で一生懸命頑張っていきたいと考えている。

【委員】

病院では言えないような苦情を薬局等院外で聞くこともある。調査をして、良い点、悪い点を把握したほうがよいと思う。11億円という赤字はかなり大きいと感じる。今後2、3年この規模の赤字が続くとどうなるのか。

【三沢市立三沢病院】

市からの繰入にも限界があり、今年のような非常に大きな額の繰入となると、市の事業にも影響がでる。どこの自治体病院も、大なり小なり市町村からの繰入があるが、今回の繰入額は規模的にかなり大きいと思っている。新型コロナウイルス感染症で急激に患者が減り、そして、入院や手術、検査を抑制してきた。新型コロナウイルス感染症が5類になり患者数が回復すると思っていたが、回復しなかった。今は患者数回復に時間がかかっている状況。今年は、医師の努力もあり、入院患者数が昨年度比10%増まで回復し、収入も改善してきている。しかし、経費の高騰、人件費の上昇もあり、経営的に難しい状況が続いている。急激に収入が減少しているが、急激な支出削減はできない。そのような中で、市の事業に影響を与えないように繰入金減らしていかなければならない。患者のアンケート

ートについては、担当者レベルで協議しているが、患者の目線になって進める必要がある。
今後、検討する

【委員】

アンケートも市民全体を対象とすると大変なので、医療機関や医師会や歯科医師会、薬局、
薬局の患者さん等を対象にするのであれば協力してもらえと思う。

【三沢市立三沢病院】

当院のアンケート準備が整い次第、関係機関にご協力をお願いしたい。

【三沢市立三沢病院事業管理者】

貴重な意見を頂戴し、感謝。新型コロナウイルス感染症によって社会状況が大きく変わ
ってしまった。この上十三地域は津軽等他地域に比べて医療資源に乏しく、何かあると急
激に悪化してしまう。今日、委員の意見を聞き、経営基盤を盤石にすることが重要と再認
識した。収入を増やす、そして支出を減らすなかで、今は収入を増やすことを1番に心掛
けており、職員への情報共有もすでに2回行い、本日、この後も行う予定。職員の意識改
革を進めている。徐々に効果は現れているが、急激にはいかないなので、ご容赦願いたい。
また、ご心配おかけし申し訳ない。三沢市立三沢病院の理念を実現するには、まだまだ足
りないところもある。アンケートは非常に良い手段。実施し、改善していきたい。